

第2章 緑の課題と方針

1 緑の課題

本市の現況や市民に対するアンケート調査（鹿沼市 花と緑のまちづくり基本計画アンケート調査）（以下、「アンケート」とする。）、市民や各種団体からなる委員会（鹿沼市 花と緑のまちづくり基本計画策定委員会）からの意見をふまえて、緑に関する課題を以下のとおり整理しました。

豊かな緑の減少

市内には田畑や森林などの緑が多く見られますが、年々緑の量が減ってきていると感じられています。

生物多様性の保全

市内には多くの植物種が生育し、豊かな生態系を育んでいます。一方で、外来種も確認され、その影響により生態系の変化が見られます。

緑の機能の低下

市内の緑は人々の休養や景観形成、水を蓄える水源等様々な機能を有しており、緑の減少や不足により、それらの機能を十分に果たせなくなる懸念があります。

市街地の緑の不足

市内には田畑や森林などの緑が多く見られますが、市街地では緑が少なく、十分とは感じられていません。

緑の配置の偏り

市街地では地域によって緑の配置に偏りがあると感じられています。

市民等の緑に対する意識の格差

緑に対する意識は人によって様々であり、積極的に緑の保全や自宅の緑化に取り組んでいる人がいる一方で、あまり緑に関心のない人もいます。

公園機能の不足

災害時の避難場所や市民の憩いの場となる公園機能が不足していると感じられています。

公園の配置の偏り

市内の公園には配置の偏りが見られ、利用されていない小さな公園が点在しています。

公園の管理体制の不十分

老朽化が進む公園は少なくありません。また、行政や自治会等によって公園の管理が行われていますが、決して十分ではありません。

協働での取り組み

市内の緑に関する様々な取り組みを行う上で、市民・事業者・行政が一体となることが重要です。

2 緑の方針

それぞれの「緑の課題」に対して、以下のとおり、取り組むべき方針を5つ定めます。

近年、市民参画型社会を迎え、様々な取組みや事業を行政だけでなく市民や事業者と一緒に取り組む市民主導、市民協働による花と緑と清流のまちづくりを目指していくことが必要であることから、協働での取組みを緑の課題すべての共通方針として設定しました。

